

熊谷市立大麻生中学校令和2年6月

学校だより

○学校教育目標○

誇れる郷土大麻生に学ぶ 埼玉県一の中学生

○目指す生徒像○

- ・自ら学ぶ生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・たくましい生徒

分散登校で授業が始まります！

校長 稲葉 俊昌

お待たせいたしました。5月19日(火)の学校メールと5月27日(水)の臨時登校日でお伝えしたとおり、いよいよ6月1日(月)から授業を開始いたします。

5月22日(金)の読売新聞埼玉版に掲載されましたが、本校でも「再開後すぐに通常通りの授業を行うのではなく、感染予防に気を配りながらの分散登校からの再スタート」で開始してまいります。

○最初は分散登校で毎日授業を行い、数週間かけて体調や生活リズムを整える。新型コロナウイルス感染症の状況に応じて通常授業に変える。(通常授業に併せて給食が開始されます。6月22日(月)からになります。)

○1日の授業は、各学年1組と2組が午前と午後に分けて行う。翌日には午前と午後を交代する。(半日ですので弁当の持参はありません。昼食は、各ご家庭で準備をお願いします。)

○1クラスを10人程度の3つに分けて、特別支援学級を含め10カ所に分かれて授業を行う。

○最初は1コマの授業を30分程度で3時間行う。徐々に時間や数を増やしていく。



教室の様子

ところで、昨年度の学校評価の結果から、本校の生徒自身が考えた課題として、家庭学習を含めた自主学習への取組が挙げられます。

すべての人に平等なもの1つに時間があります。その時間をどのように使うのかが、自分の可能性を広げるヒントになります。本校では、一人一人が唯一の「埼玉県一の中学生」を目指し、3点固定(1起床時刻、2就寝時刻、3学習の開始終了時刻の固定)を実践しています。この3ヶ月の臨時休業でのピンチを自学への挑戦というチャンスに変えて取り組むことができたでしょうか。今までの課題の提出の状況を見ると、学年が上がるにつれて質も高くなっているようです。さすがは3年生です。

生徒の皆さん一人一人が、自学の習慣をしっかりと身に付け、唯一の夢や希望の実現に向けて活躍することを期待しております。



3年生分散登校の様子

6 月		
日曜	行事予定	完全下校時間
1月	分散登校/分散授業/給食無	特別
2火	分散登校/分散授業/給食無	特別
3水	分散登校/分散授業/給食無	特別
4木	分散登校/分散授業/給食無	特別
5金	分散登校/分散授業/給食無	特別
6土		—
7日		—
8月	分散登校/分散授業/給食無	特別
9火	分散登校/分散授業/給食無	特別
10水	分散登校/分散授業/給食無	特別
11木	分散登校/分散授業/給食無/安全点検	特別
12金	分散登校/分散授業/給食無	特別
13土		—
14日		—
15月	分散登校/分散授業/給食無	特別
16火	分散登校/分散授業/給食無	特別
17水	分散登校/分散授業/給食無	特別
18木	分散登校/分散授業/給食無	特別
19金	分散登校/分散授業/給食無	特別
20土		—
21日		—
22月	通常授業開始/給食開始/部活動開始/眼科検診/残0運動開始(～26日)	18:00
23火		18:00
24水	環境の日/1年生内科検診/くまなびスクール開校式	18:00
25木	部活動1年生仮入部(～30日)	18:00
26金	特別支援学級授業公開概要説明会	18:00
27土		—
28日		—
29月		18:00
30火	埼玉県学力・学習状況調査	18:00

◎分散登校中の下校時刻(特別)について

6月1日(月)～5日(金)の下校時刻は、

午前グループ：11:30、午後グループ：16:00です。

※その後、8日(月)～12日(金)、15日(月)～19日(金)の1週間ごとに下校時間が少しずつ遅くなります。遅くとも午前グループは12:00まで、午後グループは16:30までには下校する予定です。

◎大麻生中学校校歌と生徒会歌を紹介します◎

今回は、本校の伝統ある「校歌」と「生徒会の歌」について特集しました。

◎大麻生中学校校歌◎

「大麻生中学校校歌」は、昭和36年3月1日に制定されました。本校の開校は昭和22年4月1日ですから、およそ開校14年後になります。

作詞は、宮澤章二先生です。大正八年に埼玉県羽生市に生まれ、東大文学部美学科に学び県立不動岡高校で教鞭を執られました。その後、詩人・作詞家として活躍され、300校以上もの校歌を作詞されました。「ジングルベル」の訳詞者でもあります。東日本大震災の直後、テレビで「ここはだれにも見えないけれど、ここづかいは見える」という詞を使った宣伝が流されました。その詞「行為の意味」の作者です。

作曲は、平井康三郎先生です。明治43年に高知県いの町に生まれ、東京音楽学校に学び東京音楽学校で教鞭を執るかたわら作曲活動を行い、「平城山」や「スキー」「とんぼのめがね」などを作曲されました。NHK専属作曲・指揮者、合唱連盟理事、日本音楽著作権協会理事、大阪音楽大学教授等を歴任されました。

熊谷市立大麻生中学校校歌
作詞 宮澤 章二
作曲 平井康三郎

一
ひとみ明るく集い来て
花の歌ごえ春と秋
かおる三年を健やかに
力合わせるよろこびよ
われらの熊谷大麻生

二
北の朝空山なみに
学ぶ気高き雪のいろ
夕あかねの秩父嶺は
自立不動の道照らす
進取の風あり大麻生

三
広野ひとすじ荒川を
満たす流れの水清く
父祖の伝統に夢そえて
明日の実りを求め行く
緑のふるさと大麻生

大麻生中学校々歌



「校歌」の楽譜

◎大麻生中学校生徒会の歌◎

昭和49年、当時担任だった先生から「何もしない生徒会は存在する意味がない。自主的に色々と考えて、生徒会をもっと活発に！」と提案され、「生徒会の規約」と「生徒会の歌」が作られたそうです。

大麻生中学校生徒会の歌
作詩 柳原やえ子 松本祥江
作曲 小久保優子

一
かおる緑の中を歩けば
だれかが待ってる ぼくらの仲間
つらく悲しい時 涙こらえて
ほら 大きな声で歌うたおう
そうさ ぼくらは一人じゃないさ
さあ 肩を組んで歩いていこう

二
走れ走れよ 青空の下
みんなが待ってる ぼく達仲間
失敗した時でも よくよするな
ほら 胸をはって笑顔で進もう
そうさ ぼくらは明日があるのさ
さあ 手をつないで走っていこう



「生徒会の歌」1番～2番冒頭部分の楽譜

「生徒会の歌」は、作曲がピアノが上手だった小久保優子さん、作詩は柳原やえ子さん、松本祥江さん、田島厚美さんの4人が、3年在学中に作られました。当時、歌手の小柳ルミ子さんの「瀬戸の花嫁」が流行していて、歌い始めが似ているということです。